平成30年度第２回大阪府障がい者自立支援協議会地域支援推進部会

精神障がい者地域移行推進ワーキンググループ議事概要

日　 時：平成31年3月18日（月）午後２時～

場　 所：大阪府庁新別館北館1階　会議室兼防災活動スペース１

出席委員 : 島田委員､辻井委員（精神ＷＧ長）､堤委員､林委員、角口委員､山本（深）委員､

中村オブザーバー　　　〔五十音順〕

【議題１】退院患者調査について

【議題２】長期入院精神障がい者退院促進事業について

♢委員意見等

　【議題1】

* + 最近の精神科病院では、例えば高齢者の入院であれば短期間の入院で薬物や療養環境の調整をして元の場所に戻るというのが入院の条件になっているところもある。
	+ 想定していたものが数字で裏付けられたという印象。全体的にはまちがいなく高齢化している。また、入院期間1年、65歳の区切りで、支援の在り方が明確に変わってくる。
	+ 高齢者福祉関係の施設が伸びてきていることは、障がい者福祉関係の施設の少なさを物語っているのではないか。高齢者施設が増えているからそれでいいということにはならないのではないか。

【議題２】

* + 医療機関によって、職員の退院促進に関する理解にはかなり差があるのではないか。
	+ この事業はもともと730人の退院を目指すということであったが、病院とのかかわりの中で730人以外の患者についても取り組んでいくべき。資料の中でその数がもっと明確になった資料があると、事業の経過もわかるしコーディネーターの役割もわかるのではないか。
	+ 730人の患者のうち、現在も入院中の患者の振り分け方に違和感があるので振り分け方を再検討してはどうか。
	+ 長期入院患者の退院支援にあたっては、地域移行支援の利用が少ないのではないか。患者が少しずつ今の社会の変化を知ることができる環境づくりをコーディネーターに行ってほしい。

　【その他】

次回ワーキングは、６月頃開催予定。後日日程調整させていただく。